

文献 11

Rossi, Ainsley; Blaustein, Sara; Brown, Joshua; Dieffenderfer, Kari; Ervin, Elaine; Griffin, Steven; Frierson, Elizabeth; Geist, Kathleen; Johanson, Marie. Spinal peripheral dry needling versus peripheral dry needling alone among individuals with a history of ankle sprain: A randomized controlled trial. Int J Sports Phys Ther. 2017; 12(7): 1034-1047.

1. 目的

目的は、外側足関節捻挫経験者の足関節の障害や筋および機能的なパフォーマンスに対して、脊髄—末梢、末梢単独の鍼（dry needling）の効果を比較する。

2. 研究デザイン

single-blinded randomized controlled trial

3. セッティング

記載なし

4. 参加者

片側または両側の足関節捻挫経験者 20 名（平均年齢 28.9±9.2 歳、男性 4 名：女性 16 名、片側 2 名：両側 18 名）。

5. 介入

Arm1：PDN：長腓骨筋および短腓骨筋のトリガーポイントへ鍼（dry needling）

Arm2：SPDN：長腓骨筋および短腓骨筋のトリガーポイントと両側 L5 多裂筋へ鍼（dry needling）

6. 主なアウトカム評価項目

- ・FADI：足と足関節の障害指数
- ・CAIT：カンバーランド足関節不安定性ツール
- ・筋力テスト：1)内反、2)背屈/内反、3)底屈/外反
- ・mCTSIB：バランステスト
- ・跳躍テスト：1)Single Leg Hop Tests、2)Side hop test、3)Triple hop test

7. 主な結果

筋力テストの内反と底屈/外反、片側バランス、Triple hop test において PDN が良好であった。一方、筋力テストの背屈/内反、Side hop test、FADI において有意差は無かった。

8. 結論

SPDN は PDN と比較して、足関節捻挫経験者の筋力テストや片側バランス、Single Leg Hop Tests の短期的な改善をもたらさなかった。

9. 論文中の安全性評価

記載なし

10. Abstractor のコメント

足関節捻挫経験者において、直接関与する腓骨筋への鍼（dry needling）に加えて、それらに関係する脊髄分節レベルの多裂筋への刺激を加えることで、筋力や総合的な機能的パフォーマンスに影響を及ぼすかについて比較・検討を行った研究である。SPDN と PDN において違いが見られたことは、筋出力や運動パフォーマンスの出現に関与する鍼（dry needling）刺激の影響を示唆させている。スポーツ分野において、鍼刺激による身体及びパフォーマンスへの影響を考える上で、早期に解明が望まれる課題である。

11. Abstractor and date

櫻庭 陽 2021.2.15